

令和3年10月12日

坂戸、鶴ヶ島下水道組合
管理者 石川 清 様

坂戸、鶴ヶ島下水道組合下水道事業運営審議会
会長 森田 厚 美

現行下水道使用料の検証及び今後のあり方について（答申）

令和3年10月12日付け坂下総発第738号をもって諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申します。

記

本審議会は、提出された資料及び説明から審議を行った結果、現行下水道使用料の検証については、算定期間内における目標を上回る結果となり、適切な下水道使用料徴収を行ったと認められた。

下水道の経営は、本来下水道使用料で賄うべきではあるが、次期下水道使用料の改定については、現下の経済情勢を踏まえて、令和6年度末まで下水道使用料を据置とすることは妥当である。

今後の取組としては、経営戦略を随時検証し、必要に応じた見直しの検討や、下水道使用料算定の明確化に向けて、汚水事業と雨水事業を分離する等の検討に取り組むこととされたい。

また、公費負担の在り方については、一般会計で負担すべき経費を明確に定めるため、構成市との協議を進める必要がある。

下水道サービスを持続的、安定的に提供していくために、今後の経営健全化に向けた取組について、より一層推進していただきたい。